

テキスタイルデザイン学演習 評価ルーブリック

評価項目	S・A	B	C	D
各自の研究テーマを、アカデミズム的視野に基づき客観的に再検証できる。(A-2)	アカデミズム的視野に基づき客観的に再検証できる	アカデミズム的な視点を用いてテーマを再検証できる	再検証を試みているが、関連研究への言及が不足している	再検証を十分に行っておらず、テーマに対する客観的な理解が欠如している
各自の研究テーマにおける問題を特定し、その対応について多角的に思考できる。(A-2)	複数の問題を多角的に特定し、それに対する対応策を独自かつ論理的に示すことができる	主要な問題を多角的に考え、それに対する対応策を示すことができる。	一部問題を多角的に捉えているが、一部の視点が不足しているか、対応策の展開が不完全である	問題を多角的に捉えることができず、対応策の提案がほとんどない
方法論や手法の工夫により、独自性のあるテキスタイルデザインへと可能性を追求し、研究展開することができる。(A-2)	方法論や手法に独自性を持ち、テキスタイルデザインにおける新たな可能性を追求している	一般的な手法を超えて独自性を持った方法論や手法を提案し、テキスタイルデザインの可能性を一定程度追求している	一部独自性を持った手法を提案しているが、更なる工夫や可能性の追求が求められる	手法や方法論において独自性が不足しており、可能性の追求が見られない